



今月の題字
伊藤 祐輔 君
(豊間根小6年)

町のわだい

宮古法人会 AED 1 台を町に寄贈 万が一の際に活用して

宮古法人会（寺崎勉会長）と同法人会山田支部（阿部幸栄支部長）では昨年12月28日、社会貢献活動の一環として自動体外式除細動器（AED）1台を町に寄贈しました。贈呈式は町役場で行われ、寺崎会長、阿部支部長ら4人が出席。阿部支部長が「万が一の際に役立てていただきたい」と沼崎喜一町長に手渡しました。AEDは心停止状態の患者に電気ショックを与え、心臓の動きを正常化させる医療機器。寄贈されたAEDは役場1階受け付けカウンターに備え付けられました。



新成人を代表して「はたちの決意」を述べる
小林妹子さん（写真中央）と佐々木純さん

箱石ミワさんと山崎サイさん 二人そろって、めでたく100歳

大沢地区の箱石ミワさんと田の浜地区の山崎サイさん（ともに明治39年1月20日生まれ）が満100歳の誕生日を迎えました。1月20日、箱石さんの自宅を沼崎喜一町長が訪れ、長寿を祝福。「町からのお祝いです。これからも長生きしてください」と、長寿祝い金を手渡しました。25日には介護老人保健施設シーサイドかる（近藤勝雄施設長）で、山崎サイさんの「百歳を祝う会」が開かれました。会では、山崎さんに近藤施設長から印籠と「印籠の掟」、沼崎町長から長寿祝い金が贈られたほか、お祝いに訪れた3人の娘さんとカラオケを歌うなど元気いっぱい山の崎さん。入所者らの多くの祝福に笑顔で応えていました。



沼崎喜一町長から長寿祝い金を受け取る箱石ミワさん



北浜地区自治会 上飯坂さんを招いて講演会 地震津波防災について考える

1月28日、北浜地区自治会（武藤清吉会長）では、上飯坂哲さん（前鶴住居公民館長）を講師に招いて地震津波防災を考える講演会を開きました。会場の北浜防災センターには地区民30人が参加。上飯坂さんは、今後30年以内の発生確率が99%とされる宮城県沖地震津波に備え、「地震が発生したらまず高台に逃げるのが大切」と強調。さらに阪神大震災で救援物資の届く時間が地域で大きく異なったことを例に挙げ、「災害時にしっかりと機能する自治会組織の体制整備が重要」と締めくくりました。

ガールスカウト ミャンマー難民へ支援物資 世界平和を願い文房具贈る

1月5日、本町のガールスカウト県第28団（織笠貞団委員長）では、町中央コミュニティセンターで難民の子供たちに贈るピースパック（平和の小包）の袋詰めを行いました。世界平和に貢献しようとガールスカウト日本連盟が実施しているもので、参加した団員8人はチャリティーバザーの益金で購入した文房具を丁寧にきんちゃく袋に詰め、最後にメッセージを添えました。完成した10袋のピースパックは3月下旬にタイの難民キャンプで暮らすミャンマーの子供たちに届けられる予定です。



町民歌を斉唱する成人者の皆さん

189人が誇りを胸に成人式 決意も新たに大人の仲間入り

1月8日、平成18年の町成人式が町中央公民館大ホールで開かれ、新成人189人が参加しました。主催者を代表して沼崎喜一町長が「今日の成人式を契機に、これからの山田を背負って立つような旅立ちとしてください」とあいさつ。その後、佐々木和也さん（大浦）が町民憲章を読み上げました。佐々木良一議長、佐々木俊夫県議会議員の祝辞に続き、新成人を代表して小林妹子さん（大浦）と佐々木純さん（田の浜）が、「自分が山田町民であるということを誇りに思い、いかなる場所でも自分の道を築いていきます」と『はたちの決意』を述べました。記念講演では船越の佐々木瑞英さん（瑞然寺住職）が「信念」をテーマに講演。「生きるということに信念をかけて、一生懸命頑張ってください」と新成人に激励の言葉を贈りました。式典終了後にはプレゼント抽選会が行われるなど、会場は和気あいあいとした雰囲気に包まれていました。



お祝いに訪れた娘さんとカラオケを歌う山崎サイさん／多くの祝福に笑顔で応える山崎サイさん（丸写真）